

第 1 回水戸市観光審議会での提案

第 1 回水戸市観光審議会での、各委員の提案は下表の通りです。

No	発言者	意見
1	久信田委員	借楽園周辺のバリアフリー対応について(トイレ、おむつ替え)
2	玉造委員	レンタサイクルの拡充やペロタクシーの導入
3	玉造委員	水戸駅構内土産品販売店の営業時間拡充(朝)
4	玉造委員	行政視察の受け入れを拡大すべき
5	大関(茂)委員	茨城国体において水戸市のPRを行う
6	藤田委員	常磐線東京駅乗り入れに合わせ横浜方面からの誘客キャンペーンを実施するので協力願いたい
7	大関(茂)委員	「わかりやすい案内地図・標識の整備」「歴史的な街並みづくり」に注力すべき
8	大関(竜)委員	単発のイベント開催ではなく、継続的なサービス・おもてなしの提供が必要になる。ボランティアを増やす施策を盛り込んでもらいたい。
9	三上副会長	市民が主役となる柱を立てればおもてなしは自然にできるようになる。市民がふるいたつような方向性を出したい。
10	大関(竜)委員	26万人の市民が観光客を呼び込もうと思うような施策が必要である
11	仲田委員	弘道館と借楽園は一对であり、両資源をセットに案内したパンフレットがあるとよい
12	仲田委員	借楽園と弘道館、それに水戸城エリアがつながれば年間人を呼べるようになる
13	鹿倉委員	歴史まちづくりは教育目的では観光客が楽しめない。
14	大橋委員	通年型の観光を目指す基本施策としてもらいたい
15	大橋委員	好文亭表門通り周辺をさらに整備すべき
16	中山会長	ゴールデンウィークの集客を高めることも一つの課題である
17	石川委員	今来てくれている人の訪問回数を増やすことが重要
18	石川委員	点在している観光施設を線にして歩きやすくすることも重要
19	羽石委員	市民向けのおもてなし講座を開催して欲しい
20	羽石委員	子ども向けの教育プログラムも重要
21	羽石委員	笠間ファンクラブという制度があるが、同様のものが水戸でもできると思う
22	羽石委員	「いばらき旅のストーリー」の水戸版をつくとよい
23	羽石委員	水戸城を再建したい。市民も観光客もそれを望んでいる
24	小松崎委員	水戸の観光には、もっと歴史に密着した金看板が必要である。それが水戸城であると考えている。
25	小松崎委員	地域の歴史・文化は、もっと子供の頃から学んでおくべき。
26	小川委員	水戸はターゲットを絞り込んでいない。何をみせたいのか全く分からない。
27	小川委員	もう少し謙虚になって地域の資源を見直していくことも必要。
28	高橋委員	まずあるものを見直すことが重要。ライトアップしたら人が来るようになったなど、そうした発想の転換が必要。
29	高橋委員	宿泊客の増加など地道な取り組みでも続けるべき。
30	宮内委員	借楽園は年代別にテーマを持って楽しめるように、お迎え出来るようになると良い。イベントもターゲットを絞るべき。
31	石原委員	イベントや体験の要素が必要である。
32	石原委員	夜梅祭など核となる部分をしっかりと発信していくことが重要
33	鹿倉委員	黄門まつりのとき、駅前やコンコースでバックミュージックを流してもらえないか
34	大関(竜)委員	3D映像で水戸城を復元したらどうか。
35	大関(竜)委員	コンペを行って核となるものを決めて全力で支援するような取り組みが求められる
36	仲田委員	黄門料理と水戸藩らーめんがいま一つ浸透していない。是非とも力を入れていくべき
37	久信田委員	焼きカレーやスタミナラーメンなど手軽に食べられるものも重要